

経営比較分析表（令和4年度決算）

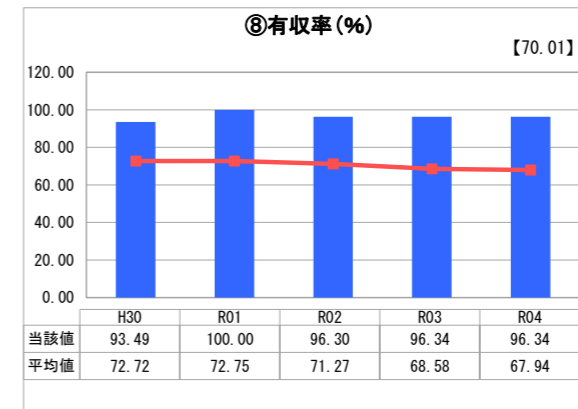
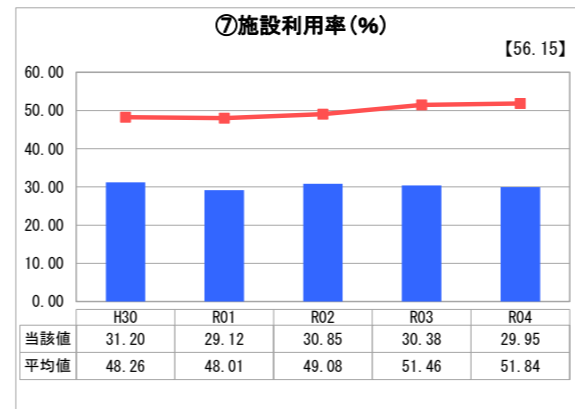
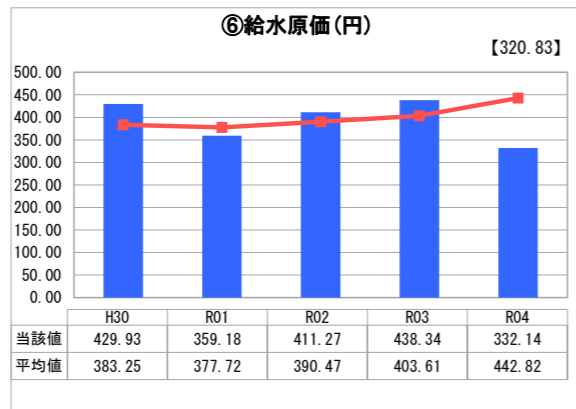
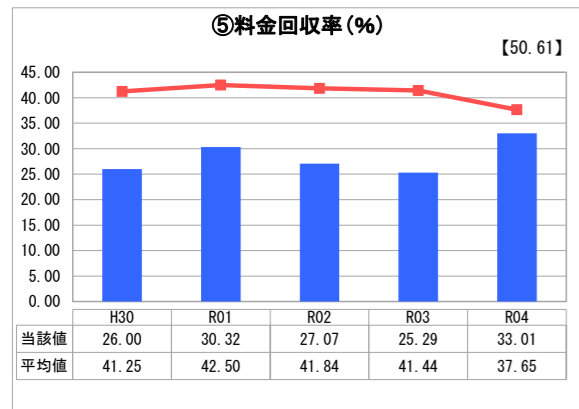
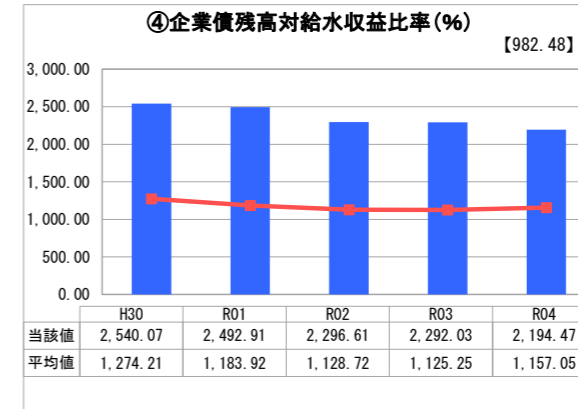
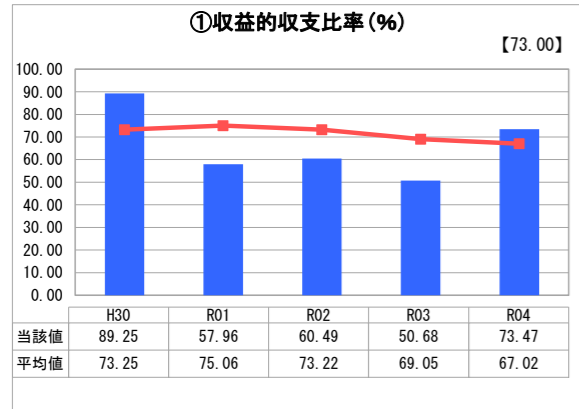
岡山県 新庄村

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法非適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | D4 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 該当数値なし | 97.72 | 1,910 | |

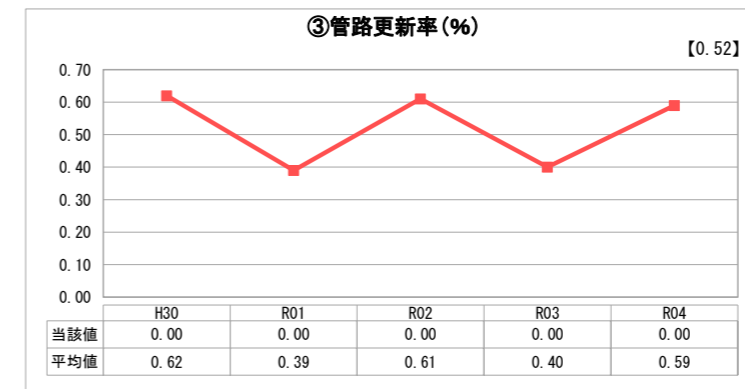
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 847 | 67.11 | 12.62 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 815 | 27.02 | 30.16 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 令和4年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

給水原価は類似団体と比べ低く、前年度と比較しても低くなっている。これは、令和5年度に公会計移行に伴い、支出が特例的になされたことにより決算上、費用が安くなったためである。しかし実際の費用は例年並みとなっているため、給水原価については、減少しているとは言い切れない。料金回収率は類似団体を下回っており、経営の効率性は悪いと言える。また、施設利用率は、人口減少に伴い、配水量が減少していることから下がっていると考えられる。新庄村簡易水道事業は、給水収益では賄えていない状況となっている。企業債の償還等もあり、一般会計からの繰入はやむを得ない状況であるが、今後も料金収納率の向上、料金改定の検討、経営の効率化を図る。

2. 老朽化の状況について

老朽化した管路が増えてきているため、計画的な更新をしていかなければならない。

全体総括

新庄村簡易水道事業の経営について、料金収納率の向上、料金改定の検討、経営の効率化を図り一般会計の健全化を進めていく。また、老朽化対策については、経営バランスを考慮し、更新を進めていく。